

八戸市スポーツ推進計画の進捗状況について

1 計画の改定について

(1) 改定の背景

本計画は、スポーツ基本法第 10 条第 1 項の規定に基づく地方スポーツ推進計画として、計画期間を令和元年度から令和 10 年度までの 10 年間とし、策定したが、策定から 5 年経過し、市のスポーツを取り巻く環境にも変化が生じてきたことを受け、令和 6 年 3 月に改定したもの

(主なハード面の変化)

- ・ Y S アリーナ八戸の供用開始（令和元年 9 月）
- ・ フラット八戸の開場（令和 2 年 4 月）
- ・ プライフーズスタジアムの照明設備の整備（令和 3 年 3 月）

(主なソフト面の変化)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う行動様式の変化
- ・ 八戸スポーツコミッションの新設（令和 4 年 4 月）
- ・ 国のスポーツ基本計画の第 2 期（平成 29 年度～令和 3 年度）から第 3 期（令和 4 年度～令和 8 年度）への移行
- ・ 青森県のスポーツ推進計画の第 1 期（平成 28 年度～令和 4 年度）から第 2 期（令和 5 年度～令和 9 年度）への移行
- ・ 八戸市総合計画の第 6 次（平成 28 年度～令和 2 年度）から第 7 次（令和 4 年度～令和 8 年度）への移行

(2) 計画の位置付け

本計画は、スポーツ基本法第 10 条第 1 項に規定する地方スポーツ推進計画であり、国の第 3 期スポーツ基本計画（令和 4 年 3 月策定）を参酌するとともに、第 7 次八戸市総合計画（令和 4 年 3 月策定）に基づく計画として策定

(3) 計画期間

改定後の本計画の期間は令和 6 年度から令和 10 年度までの 5 年間とし、必要に応じて、内容の見直しを行う。

2 現状

(1) 市の人口の推移

①人口の推移

単位：人

R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
226, 541	224, 617	222, 173	219, 733	216, 596

②世代別人口の推移

単位：人

	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
0～14 歳	26, 228	25, 725	24, 990	24, 261	23, 450
15～64 歳	131, 196	128, 957	127, 077	125, 397	122, 921
65 歳以上	69, 117	69, 935	70, 106	70, 075	70, 225
合計	226, 541	224, 617	222, 173	219, 733	216, 596

③小学校児童数の推移

単位：人

R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
10, 944	10, 791	10, 707	10, 530	10, 418

④中学校生徒数の推移

単位：人

R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
5, 886	5, 758	5, 756	5, 606	5, 517

⑤高等学校生徒数の推移

単位：人

	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
全日制	7, 556	7, 279	7, 090	6, 973	6, 882
定時制・通信制	526	594	631	661	700

(2) スポーツ施設の利用状況

市内スポーツ施設の利用者数

単位：人

	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
長根公園	354, 137	259, 833	251, 920	319, 981	373, 733
東運動公園	218, 318	112, 765	114, 662	150, 880	165, 831
新井田公園	78, 210	61, 462	59, 669	72, 019	87, 238
屋内トレーニング センター	92, 680	60, 871	44, 968	62, 508	72, 752
南部山健康運動公園	97, 111	60, 800	55, 044	72, 198	87, 352
南郷カッコーの森 エコーランド	100, 279	62, 237	61, 140	79, 218	94, 874
多賀多目的運動場	116, 886	67, 083	67, 214	97, 677	115, 987
合計	1, 057, 621	685, 051	654, 617	854, 481	997, 767

3 八戸の強み

(1) 氷都八戸

本市は、日本の北部に位置しながら、日照時間が長く、雪が少ないことから、古くからスケートが盛んに行われており、市民の生活に密着したスポーツとして、親しまれている。

平成 27 年度からは、市の風土に根差したスポーツであるスケートに親しむ環境を醸成しながら、競技人口の増加と競技力の向上を図ることを目的に、氷都八戸パワーアッププロジェクトに取り組んでおり、また、令和元年 9 月には、400m ダブルトラック等を有する Y S アリーナ八戸、令和 2 年 4 月には、新たな形の官民連携により、アイスホッケー等用のアイスアリーナを有するフラット八戸が開場したこともあり、競技人口は増加傾向にある。

(氷都八戸パワーアッププロジェクト)

①幼稚園・保育園及び小学校のスケート教室に対する指導者派遣

・延べ受講者数

単位：人

R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
4, 150	5, 098	4, 060	6, 819	8, 271

②八戸市スケート教室の開催

・参加者数

単位：人

	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
スピードスケート	210	143	150	153	150
フィギュアスケート	—	—	91	90	103

※R 2 年度からスピードスケート教室の定員を 150 人に変更

③中学競技者に対するスケート競技用具購入補助金の交付

補助率 1 / 3

補助上限 スピードスケート靴 30, 000 円

フィギュアスケート靴 30, 000 円

アイスホッケー用スティック 10, 000 円

(2) 4つのプロスポーツチームの拠点

本市では、平成 18 年創設の J 3 リーグ ヴァンラーレ八戸 F C、平成 20 年創設のアジアリーグアイスホッケー 東北フリーブレイズ、平成 24 年創設の B 2 リーグ 青森ワッツ、平成 30 年創設の 3×3 八戸ダイムの 4つのプロスポーツチームが、本市を拠点として活動している。

① ヴァンラーレ八戸 F C (サッカー)

(観戦者数)

単位：人

R 元年	R 2 年	R 3 年	R 4 年	R 5 年
29,919 (17 試合)	11,316 (17 試合)	15,922 (14 試合)	25,553 (17 試合)	35,916 (19 試合)

② 東北フリーブレイズ (アイスホッケー)

(観戦者数)

単位：人

R 元年—2 年	R 2 年—3 年	R 3 年—4 年	R 4 年—5 年	R 5 年—6 年
15,518 (14 試合)	9,533 (14 試合)	9,438 (14 試合)	13,613 (18 試合)	15,305 (16 試合)

③ 青森ワッツ (バスケットボール)

(観戦者数)

単位：人

R 元年—2 年	R 2 年—3 年	R 3 年—4 年	R 4 年—5 年	R 4 年—5 年
6,014 (6 試合)	4,004 (6 試合)	3,632 (6 試合)	4,395 (4 試合)	4,656 (4 試合)

④ 八戸ダイム (3×3)

(観戦者数)

単位：人

R 元年	R 2 年	R 3 年	R 4 年	R 5 年
—	—	2,311 (1 試合)	5,576 (2 試合)	10,654 (3 試合)

4 課題

(1) スポーツを「する」視点からみた課題

①新型コロナウイルス感染症の影響に伴う行動様式の変化

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う行動様式の変化等を要因の1つとして、スポーツ施設利用者数がコロナ禍前と比較して減少しており、健康の増進にもつなげることのできる運動機会の増加、または、創出の促進が必要

②運動機会の提供のための活動場所の確保

人口が減少し、スポーツ施設利用者数が減少している中でも、スポーツ競技団体からは、練習のための、そして、大会開催のための施設の確保が難しいとの声があがっており、スポーツ施設の適切な整備及び運営による対応が必要

③競技力向上のためのさらなる強みの活用

YSアリーナ八戸やフラット八戸等の新たな施設の整備により、競技環境の向上したスケート競技やアイスホッケー競技、オリンピックメダリストを輩出しているレスリング競技、さらには、4つのプロスポーツチームが本市を活動拠点にしているといった本市の特性を活かした、競技力向上のための、さらなる強みの活用が必要

(2) スポーツを「みる」視点からみた課題

①プロスポーツ等のスポーツをみる文化の醸成

4つのプロスポーツチームが本市を活動拠点とする等、スポーツ観戦の機会自体は多くあるものの、コロナ禍の影響もあり、観戦者数は伸び悩みの傾向にあり、スポーツ観戦の促進による日常的にスポーツをみる文化の醸成が必要

②プロスポーツチームのさらなる魅力発信

プロスポーツチームのホームゲームでは、賑わいが創出され、また、地域産業との連携によるコラボレーショングッズが販売されているものの、その動きをさらに増幅し、ホームゲーム時以外にも波及させるため、プロスポーツチームのさらなる魅力の発信が必要

③観光・文化・するスポーツ等の地域資源との組み合わせ

プロスポーツチーム等のスポーツ観戦だけではなく、観光・文化・するスポー

ツ等の地域資源との組み合わせによるスポーツツーリズムの促進により、相乗効果を生み出し、市の外部からのスポーツ誘客を増加させる取り組みが必要

(3) スポーツを「ささえる」視点からみた課題

①多様なスポーツにおける指導者の育成

様々なスポーツ競技において、指導者不足が顕在化しており、多様なスポーツにおける指導者の育成が必要

②産学官連携の推進

多様なスポーツにおける指導体制の強化のためには、産学官連携のさらなる推進が必要

③大会・合宿の受け入れ体制の強化

令和4年4月に八戸スポーツコミッションを創設し、スポーツ合宿の誘致に努めていますが、さらなる誘致の促進に向け、受け入れ体制の強化が必要

5 基本方針

スポーツを「楽しみたいくなるまち」の実現と「氷都八戸」の振興
～スポーツの力でさらなる元気な八戸に～

(基本目標)

(1) スポーツを「する」機会の充実

(目標達成のための施策)

- | | |
|--------------------------------|----|
| ・誰もがアクセスできるスポーツ活動の促進 | 拡充 |
| ・スポーツを通じた健康増進 | 新規 |
| ・プロスポーツチーム等との連携による競技力の向上 | 拡充 |
| ・八戸市体育館の建て替え等のスポーツ施設の適切な整備及び運営 | 拡充 |

(2) スポーツを「みる」文化の醸成による賑わいの創出と地域活性化

(目標達成のための施策)

- | | |
|---------------------------------|----|
| ・スポーツ観戦の促進によるスポーツをみる文化の醸成 | 新規 |
| ・スポーツ観戦を起点とする賑わいの創出 | 新規 |
| ・プロスポーツチームと地域産業の連携による地域経済の活性化 | 拡充 |
| ・スポーツ観戦と地域資源を組み合わせたスポーツツーリズムの促進 | 拡充 |

(3) スポーツを「ささえる」多様な人材の育成

(目標達成のための施策)

- | | |
|----------------------------|----|
| ・スポーツをささえる多様な人材の育成と活動の場の確保 | 拡充 |
| ・産学官連携によるスポーツをささえる体制の強化 | 新規 |
| ・地域プロスポーツチーム等との連携による指導力の向上 | 拡充 |
| ・スポーツ・インテグリティの確保 | 新規 |

6 基本目標

(1) スポーツを「する」機会の充実

①基本目標達成のための施策の方向性

八戸市体育館の建て替え等のスポーツ施設の適切な整備及び運営を行い、子どもから高齢者までの多様な世代の誰もがアクセスできるスポーツ活動を促進し、スポーツを通じた健康増進を図るとともに、ヴァンラーレ八戸F C、東北フリーブレイズ、青森ワッツ及び八戸ダイムの本市を拠点に活動するプロスポーツチームとの連携及び競技環境の充実しているスケートやオリンピックメダリストを輩出しているレスリング等の本市のスポーツ資源を生かした競技力の向上を図る。

②目標達成のための施策

ー1 誰もがアクセスできるスポーツ活動の促進 拡充

・子どもの体を動かす遊びからスポーツにつながる機会の充実 継続

親子が公園等の身近な場所で楽しめる子どもの身体を動かす遊びを促進するとともに、遊びから多様なスポーツにつながるきっかけづくりの充実を図る。

・地域スポーツクラブに関する情報の一元化 新規

誰もがスポーツに容易にアクセスしやすくするため、また、公立中学校における休日の部活動の地域移行等を見据え、市内地域スポーツクラブに関する情報の一元化を図る。

・ライフステージ等に応じたスポーツ活動の促進 新規

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う行動様式の変化により、スポーツをする機会の減少した働く世代、子育て世代、シルバー世代及び障がい者等に対し、スポーツをすることに関する喚起を図り、多様化するスポーツのニーズや、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を促進する。

ー 2 スポーツを通じた健康増進 新規

・スポーツをしやすいまちづくりの推進 新規

身近な場所で気軽にスポーツがしやすいまちづくりを推進する。

・生活の中のスポーツ活動の定着 新規

生活の中にスポーツ活動が定着するようウォーキング及びサイクリング等の誰もがアクセスできる多様なスポーツ活動について啓発を図る。

・スポーツが健康に与える効果に関する情報発信 新規

スポーツを行うことの必要性を広く普及するため、スポーツが健康に与える効果に関する情報の発信を図る。

ー 3 プロスポーツチーム等との連携による競技力の向上 拡充

・氷都八戸の振興 拡充

Y S アリーナ八戸やフラット八戸の開場により、競技環境がより充実したスケート競技については、その強みをさらに生かしながら、競技力の向上を図る。

・レスリングのまち 八戸の振興 継続

オリンピックメダリストを輩出しているレスリング競技については、メダリスト等のトップアスリートから直接指導をうけることが可能であり、その強みをさらに生かしながら、競技力の向上を図る。

・地域プロスポーツチーム等との連携 拡充

ヴァンラーレ八戸F C、東北フリーブレイズ、青森ワッツ及び八戸ダイムの本市を拠点に活動するプロスポーツチーム等との連携により、アイスホッケー、サッカー、バスケットボール及び3 x 3等の多様なスポーツの競技力の向上を図る。

ー 4 八戸市体育館の建て替え等のスポーツ施設の適切な整備及び運営 拡充

・八戸市体育館の建て替え 新規

八戸市体育館の建て替えについては、令和8年度からの設計着手、そして、建て替えという流れを目指して進めており、その着実な推進を図る。

・スポーツ施設の適切な整備 **拡充**

平成 31 年 3 月に策定した八戸市体育施設整備に関する基本方針に基づきながら、令和 8 年に開催予定の第 80 回国民スポーツ大会に必要なスポーツ施設の改修等適切な整備を図る。

・誰もがアクセスしやすいスポーツ施設の運営 **拡充**

スポーツ施設を良好に維持しながら、管理するとともに、誰もがアクセスしやすいスポーツ施設の運営を促進する。

③実施中の事業

※R 4 年度は決算額、R 5 年度は決算見込み額

・ジュニアアイスホッケー交流事業

単位：千円

事業内容	苫小牧市のアイスホッケージュニア選抜チームとの交流試合等を通じて、両市の連携・交流を推進				
決算額	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
	751	37	19	19	342

・スポーツ賞等表彰事業

単位：千円

事業内容	本市スポーツの振興・発展に貢献した個人・団体を表彰				
決算額	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
	225	237	238	259	150

・レスリングのまち推進事業

単位：千円

事業内容	かおりカップスーパーキッズレスリング選手権大会を青森県レスリング協会と共同で開催				
決算額	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
	27	0	231	3	686

・スポーツ少年団運営支援事業

単位：千円

事業内容	スポーツ少年団対抗のスポーツ少年大会の運営に要する経費の一部を補助				
決算額	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
	180	243	67	149	0

・地区体育振興事業

単位：千円

事業内容	八戸市スポーツ協会が行う地区体育振興事業に要する経費の一部を補助				
決算額	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
	280	233	230	270	280

・氷都八戸パワーアッププロジェクト

単位：千円

事業内容	小学校スケート教室等への指導者派遣、スケート教室の開催及び中学競技者のスケート用具の購入に要する経費の一部を補助				
決算額	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
	2, 494	1, 745	2, 471	3, 118	3, 270

・各種スポーツ大会運営補助事業

単位：千円

事業内容	市総合スポーツ大会の開催及び市内で開催される全国大会の開催に要する経費の一部を補助				
決算額	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
	3, 038	278	200	1, 961	4, 282

・競技大会選手等派遣補助事業

単位：千円

事業内容	国際大会や全国大会及び市町村対抗県民スポーツ大会や北奥羽総合体育大会への派遣費用の一部を補助				
決算額	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
	4, 310	90	215	1, 570	4, 330

・第 80 回国民スポーツ大会事業

単位：千円

事業内容	開催に向けた各種準備				
決算額	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
	—	—	0	16, 532	2, 461

・フラットアリーナ利用促進事業

単位：千円

事業内容	X S M F L A T 八戸株式会社との間で締結した協定書に基づき、営業時間のうち 2, 500 時間を市が借上げ、市民に貸し出し				
決算額	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
	—	110, 000	110, 000	110, 000	110, 000

・スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会運営事業 単位：千円

事業内容	スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会を開催し、八戸市スポーツ推進計画の進行管理等実施				
決算額	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
	—	—	—	84	229

・スポーツコミッション支援事業 単位：千円

事業内容	産業経済団体、スポーツ団体及び市の 13 団体で令和 4 年 4 月に創設しており、合宿補助金等を交付				
決算額	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
	—	—	—	5,240	5,619

・スポーツ施設整備事業 単位：千円

事業内容	市内スポーツ施設の整備等を実施				
決算額	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
	110,014	68,401	88,400	91,709	45,277

・新体育館整備事業 単位：千円

事業内容	令和 4 年度に策定した「八戸市体育館の建て替えに関する基本構想」に基づき、基本計画等を策定				
決算額	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
	—	—	255	299	26,294

・施設の維持管理経費 単位：千円

事業内容	市内スポーツ施設の維持管理を実施				
決算額	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
	653,791	654,981	657,731	655,960	683,409

④数値目標

	R 元年度	R 5 年度	目標値
スポーツ施設利用者数	1,057,621 人	997,767 人	1,300,000 人
スポーツ各賞受賞者数	14 人	22 人	20 人

(2) スポーツを「みる」文化の醸成による賑わいの創出と地域活性化

①基本目標達成のための施策の方向性

ヴァンラーレ八戸F C、東北フリーブレイズ、青森ワッツ及び八戸ダイムの本市を拠点に活動するプロスポーツチーム等のスポーツ観戦の促進によるスポーツをみる文化の醸成を図るとともに、プロスポーツチーム等のスポーツ観戦を起点とする賑わいの創出、プロスポーツチームと地域産業の連携による地域経済の活性化、さらには、プロスポーツチーム等のスポーツ観戦と観光・文化等の地域資源を組み合わせたスポーツツーリズムの促進を図る。

②目標達成のための施策

ー1 スポーツ観戦の促進によるスポーツをみる文化の醸成 新規

・プロスポーツチームのホーム戦等の観戦促進 新規

ヴァンラーレ八戸F C、東北フリーブレイズ、青森ワッツ及び八戸ダイムの本市を拠点に活動するプロスポーツチームとの連携を深化し、ホームゲームの観戦をより促進します。また、国民スポーツ大会等の全国規模の大会について、広く周知に努め、スポーツを「みる」ことに対する関心を高める。

・プロスポーツチームのホームゲーム等を「みる」文化の醸成 新規

プロスポーツチームのホームゲーム等の観戦を促進しながら、日常的にスポーツを「みる」文化の醸成を図る。

ー2 スポーツ観戦を起点とする賑わいの創出 新規

・プロスポーツチームのホームゲーム等開催時の賑わいの創出 新規

プロスポーツチーム等と連携し、ホームゲーム等開催時の賑わいの創出、さらには、増大を促進するとともに、飲食店等との連携により、ホームゲーム等の観戦前後にも新たな賑わいが試合会場以外でも創出されるよう促進する。

・プロスポーツチームに関する持続的で日常的な賑わいの醸成 新規

プロスポーツチーム等と連携し、プロスポーツチームのホームゲーム等開催時だけではなく、持続的で日常的な賑わいの醸成に努める。

ー 3 プロスポーツチームと地域産業の連携による地域経済の活性化 拡充

・プロスポーツチームと地域産業の新たな連携 継続

プロスポーツチームと多様な産業が集積する八戸の産業力を生かした連携による新たな地場製品の開発を促進する。

・プロスポーツチームと地域産業との連携による地場製品の販売促進 拡充

プロスポーツチームと地域産業との連携による地場製品については、ホームゲーム開催時だけではなく、市内外への販売を促進するとともに、チームの魅力発信につながるよう促進する。

ー 4 スポーツ観戦と地域資源を組み合わせたスポーツツーリズムの促進 拡充

・地域資源との組み合わせによるスポーツツーリズムの促進 継続

プロスポーツチームのホームゲーム等のスポーツ観戦と観光・文化・するスポーツ等の地域資源との組み合わせによるスポーツツーリズムを促進する。

・スポーツツーリズムを起点にした地域経済の活性化 新規

スポーツツーリズムを起点に八戸圏域内の回遊性を高め、観光振興を図るとともに、飲食や宿泊等の需要を喚起し、地域経済の活性化につなげる。

③実施中の事業

※R 4 年度は決算額、R 5 年度は決算見込み額

・地域スポーツチーム応援事業

単位：千円

事業内容	プロスポーツチームのホーム戦に市内小学生を無料招待する八戸市民キッズデー等を実施				
決算額	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
	6, 695	11, 879	10, 899	5, 564	2, 027

- ・ジュニアアイスホッケー交流事業（再掲）
- ・スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会運営事業（再掲）
- ・スポーツコミッション支援事業（再掲）
- ・スポーツ施設整備事業（再掲）
- ・新体育館整備事業（再掲）
- ・施設の維持管理経費（再掲）

④数値目標

	R 元年	R 5 年	目標値
プロスポーツ観戦者数	51,451 人	66,531 人	53,000 人
アマスポーツも含めたスポーツ観戦率	29.5%	57.1%	27.0%

(3) スポーツを「ささえる」多様な人材の育成

①基本目標達成のための施策の方向性

スポーツ・インテグリティの確保を図りながら、スポーツをささえる多様な人材の育成と活動の場を確保するとともに、産学官連携によるスポーツをささえる体制の強化を図り、さらには、東北フリーブレイズ、ヴァンラーレ八戸FC、青森ワッツ及び八戸ダイムの本市を拠点に活動するプロスポーツチーム等との連携による指導力の向上を促進する。

②目標達成のための施策

— 1 スポーツをささえる多様な人材の育成と活動の場の確保 拡充・競技スポーツをささえる多様な人材の育成と活動の場の確保 継続

八戸市スポーツ協会や各種スポーツ競技団体、さらには、プロスポーツチームとも連携し、競技スポーツをささえる多様な人材の育成と活動の場の確保を図る。

・地域スポーツをささえる多様な人材の育成と活動の場の確保 新規

八戸市スポーツ協会、八戸市スポーツ少年団及び八戸市スポーツ推進委員協議会、さらには、地域体育振興会とも連携し、地域スポーツをささえる多様な人材の育成と活動の場の確保を図る。

・アスリートのセカンドキャリアの活用 継続

本市を拠点にするプロスポーツチーム等のアスリートのセカンドキャリアに関する支援体制の構築を促進し、本市スポーツをささえる多様な人材の確保につなげる。

一 2 産学官連携によるスポーツをささえる体制の強化 新規

・学との連携によるささえる体制の強化 新規

大学等の有するスポーツ資源を生かしながら、スポーツ競技団体とも連携を図り、スポーツをささえる体制の強化を図る。

・産業との連携によるさらなる大会・合宿の誘致のための体制の強化 新規

令和 4 年 4 月に創設した八戸スポーツコミッションの体制を拡充し、Y S アリーナ八戸やフラット八戸等の特徴的なスポーツ施設を生かしたさらなるスポーツの大会・誘致のためのささえる体制の強化を図る。

一 3 地域プロスポーツチーム等との連携による指導力の向上 拡充

・プロスポーツチームとの連携による指導力の向上 新規

本市を拠点にするプロスポーツチーム等との連携による指導力の向上を促進する。

・スポーツ競技団体との連携による指導力の向上 拡充

オリンピック等を輩出しているスポーツ競技団体等との連携による指導力の向上を促進する。

一 4 スポーツ・インテグリティの確保 新規

・スポーツ競技団体のガバナンスの強化 新規

八戸市スポーツ協会及び八戸市スポーツ少年団とも連携し、スポーツ競技団体のガバナンスの強化が図られるよう支援する。

・スポーツ競技団体のコンプライアンスの徹底 新規

八戸市スポーツ協会及び八戸市スポーツ少年団とも連携し、スポーツ競技団体のコンプライアンスが徹底されるよう支援する。

③実施中の事業

※R 4 年度は決算額、R 5 年度は決算見込み額

・スポーツ推進委員研修事業

単位：千円

事業内容	スポーツ基本法に基づき、委員を 42 名に委嘱しており、その研修や小学校等へのスポーツの指導のための派遣等を実施				
決算額	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
	973	735	505	687	1,294

- ・スポーツ賞等表彰事業（再掲）
- ・地区体育振興事業（再掲）
- ・各種スポーツ大会運営補助事業（再掲）
- ・スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会運営事業（再掲）
- ・スポーツコミッション支援事業（再掲）
- ・スポーツ施設整備事業（再掲）
- ・新体育館整備事業（再掲）
- ・施設の維持管理経費（再掲）

④数値目標

	R 元年度	R 5 年度	目標値
スポーツ少年団における有資格者の割合	62.5%	60.0%	70%